

■インド：またも電源開発計画未達の見込み

2009年7月20日付の大手報道機関の報道によると、インドの電源開発計画は未達になるとしている。同国の電源開発5ヵ年計画によると、2009～2010年の電源開発目標は14.5GWとなっているが、70%程度の開発に留まる見通しとなった。2008～2009年の実績では目標量12GWに対して77%に終わっている。これにより同国の供給不足量は12.6%にまで拡大する見込みである。閣僚によると、目標未達の原因は発電所建設機材の納期遅延もあるが、最も大きな原因は石炭不足にあるとしている。今年度の石炭消費量は6億トンを超え7,000万トン不足すると見込まれている。最新の電源開発5ヵ年計画によると2012年までの開発目標は合計78.7GWに設定されているが、今のところ15.1GWの進捗状況である。